

授業科目名	プログラミング実習 I			年次	1年		
				学科	ITビジネス科		
担当教員名	藤村 龍一・押川 知寛・松岡 慎吾			開講年度・学期	2025年度・通年		
授業の方法	実習	週時限数	7	年間授業時数	266時間	科目区分	必須
	実務経験の有無	有	実務経験	システムエンジニアとしてシステム開発(概要設計～運用テスト)に携わる。応用情報技術者試験などの資格を保有。			
授業の概要 (実務経験を 活かした教育 内容)	本科目の狙いは業界で広く利用されているJava言語の基礎文法を習得することです。Javaは静的型付け言語であるため、自然と型を意識するようなコーディングを身につけることができます。またクラスベースのオブジェクト指向をサポートしているため、クラスやインスタンス、継承といった概念を体系立てて学ぶことができます。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. Javaの言語仕様を理解し、その特徴を活かしたプログラミングができる。 2. サーティファイ主催 Javaプログラミング能力認定試験3級に合格できる。 3. 基本情報技術者試験の科目B「アルゴリズムとプログラミング」の問題を解くことができる。 						
授業計画	月	内容					
	4	・Java基礎(型、変数、演算、制御文、条件式)					
	5	・Java基礎(配列、関数、列挙型)					
	6	・Java基礎(コマンドライン、総称型)					
	7	・Javaプログラミング能力認定試験3級対策					
	8	—					
	9	・前期末試験実施					
	10	・オブジェクト指向基礎(クラス、インスタンス、フィールド、メソッド)					
	11	・オブジェクト指向基礎(コンストラクタ、アクセス修飾子)					
	12	・オブジェクト指向基礎(継承)					
	1	・オブジェクト指向基礎(ポリモーフィズム)					
	2	・オブジェクト指向基礎(API活用、コレクション、例外) ・後期末試験実施					
	3	・オブジェクト指向基礎 (ジェネリック)					
	成績評価の 方法	前期(9月)と後期(2月)の定期試験で評価を行う。 成績評価:優(100～90)・良(89～70)・可(69～40)・不可(39～0)					
準備学習・ 事後学習等	教科書や参考資料を読み、言語仕様について予習しておくこと。 自力で解けない、または理解が足りなかった課題については、しっかり復習しておくこと。						
テキスト	スッキリわかるJava入門[インプレス]						
参考書・ 参考資料等	Javaプログラミング能力認定試験 3級過去問題集[サーティファイ]						
その他 (学生に対する 要望、メッセ ージ)	プログラム言語は多種ありますが、母国語ともいべき言語(ここではJava)を決めて、それをしっかりマスターしておくことが後のプログラマ人生の礎となります。Javaを学ぶことで一般的なプログラミングスキルを網羅的に学ぶことができます。悩み立ち止まりそうになったときでも、まずは手を動かしてプログラムを動かしてみてください。トライ&エラーが皆さんを成長させてくれます。						